

「特別支援学級在籍生徒に英語を教えるメリット」
～（主に）手作り教材で指導した3年間の抽出授業を通して～
大阪市立梅香中学校 仲野 由莉香

I 実践にあたって

梅香中学校3年間で英語の抽出授業を行った中で、特別支援学級在籍生徒の生徒に英語を教えるメリットを、主に手作り教材を使って実践したことを中心報告します。

II 実践内容

1 外国語が特別な支援を必要とする子どもにもたらすメリット

2 Y君についての実践

(1) Y君について

①Y君の特性

②Y君の授業計画

(2) Y君の学習教材

(3) Y君のその後の進路

3 K君についての実践

(1) K君について

①K君の特性

②K君の授業計画

(2) K君の学習教材

(3) K君のその後の進路

4 N君についての実践

(1) N君について

①N君の特性

②N君の授業の取り組みの工夫

③コグニティブトレーニングについて

- (2) N君の学習教材
- (3) N君のその後の進路

III 成果と考えられる効果

英語の抽出の授業を通して、生徒は自分の発音に自信が持てたり、英語を通して自分について新たな一面を確認することができたり、英語の感情の学習で自分の気持ちについて上手に話をすることができた。特別支援学級在籍の生徒にとって、必ずしも英語は受験に必要であったり、今後の生活ですぐに使えるものではないかもしれない。しかし授業を通して生徒の成長から、人としての豊かさを築くことができ、それは有用性と同じくらい大切ではないかと考える。